

第三回

たかすき 能 薪

- 【日時】 10月2日(日) 17:30開演
【場所】 高崎観音山・カッパビア駐車場
(雨天の場合は群馬音楽センター)
【料金】 3,500円

演目・出演

- 【狂言】 蚊相撲 (かずもう)
重要無形文化財・日本能楽会員
野村万作一門
- 【仕舞】 邯鄲 (かんだん)
重要無形文化財・日本能楽会員
能楽協会前理事長
大坪十喜雄
- 【能】 葵上 (あおいのうえ)
重要無形文化財・日本能楽会員
本間英孝宝生流一門

- 【主催】 高崎観音山連絡協議会
【プレイガイド】 高崎観光協会
高崎駅構内観光案内所
高崎文化会館・学陽書房・慈眼院
カッパビア・山徳記念館
高島屋・スズラン
- 【お問い合わせは】 高崎観音山連絡協議会事務局
(カッパビア内) ☎0273-23-4123

能を知る集い

開演の前(16:30-17:00)に、能楽の知識を得るための「能を知る集い」を設けます。

能 葵上 (あおいのうえ)

舞台正面にのべられた小袖は、源氏の子を宿し女たちの怨念の生霊に悩む病気の葵上をさす。生霊は嫉妬にまかせて葵上を打ちすえて、興奮のほとばしりに身をゆだねる。

葵上の病状の急変により、行者によって折棒がはじまり、生霊は打杖(魔法の杖)をふるって法力と争うが悪念はついに屈服する。

※世阿弥が手を入れた古作の能で、変化ある演出によって人気曲の第一。

狂言 蚊相撲 (かずもう)

大名が新しい召使いを抱えるために冠者をつかわすと、人に姿を変えた蚊の精が血を吸おうと踊りかかる。冠者はこれを連れて帰り、大名は新参者の相撲がみたいと思い、自身が相手をするが蚊にさされて目をまわす。

正体を察した大名は、自身でうちわであおぎ、いったんは勝つが、結局蚊になげられる。

※大名と蚊の精の相撲という愉快な曲。